



川澄化学工業株式会社様

事業内容：医療機器・医薬品の開発・製造・販売

本社所在地：東京都港区港南2-15-2  
品川インターナシティB棟9階

社員数：連結2,696名  
単体889名(2015年3月現在)

URL：<http://www.kawasumi.jp/>



## 印刷物の情報漏えい対策は 「何が印刷されたのか」までの把握と管理が肝要

### 業務効率とトレードオフになりがちな 印刷セキュリティソリューションの最適解を WISE Printに求めて



- 業務効率を落とすことなく印刷物の情報漏えい防止効果を得ることができた
- 有事の際の、印刷物のトレーサビリティ環境を得ることができた

#### 採用の背景

印刷物の情報漏えい対策は  
「いつ」「誰が」だけではなく  
「何を」印刷したかの把握が重要

当社における情報セキュリティ強化の施策として「情報の持ち出し経路を制御する」という課題がありました。その対象となる情報としては、メールに添付されるファイルや、社員それぞれが作成したファイルなどになりますが、これらのファイルを印刷した「紙」についても対象とすべき、という指針を設けました。

メールからの経路に対してはメールセキュリティソリューションを、ファイルに対しては暗号化とアクセス権限管理のソリューションを選定し、同時に印刷物のセキュリティ対策ソリューションを探し始めたことが、WISE Print導入のきっかけとなりました。

ひとくちに印刷物のセキュリティ対策ソリューションと言っても様々な方式がありますが、当社では、印刷して紙で保管・管理することが多いので、ペーパーレス化や物理的に印刷させない、あるいは許可制とする方式は、業務効率が低下するため、最初から考えていました。

そこで我々は、全ての印刷物に対する「印刷実行者」、「印刷日時」、「印刷枚数」などの基本情報のログ、およびそれに対応した「印刷内容(画像)」を同時に記録して、トレーサビリティを確保することを選択しました。また併せて、社員に対しても、そのソリューションを導入したこと事を前に周知させ、不正行為に対する抑止効果も期待していました。



川澄化学工業株式会社  
システム部  
副部長  
加藤 明 様



## システム概要

導入製品／WISE Print 印刷ログ監査  
導入バージョン／6  
ユーザ数／800  
稼働開始日／2016年1月

川澄化学工業株式会社様  
ご協力ありがとうございました

取材・編集：2016年2月  
掲載したテキスト・写真的  
無断転用・転載はお断りします

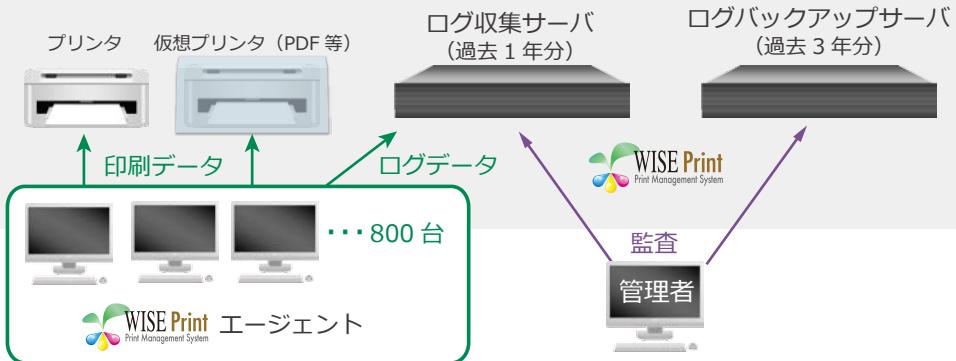
●WISE Print印刷ログ監査の詳細は  
<http://www.air.co.jp/>



〈東京〉  
〒106-0032  
東京都港区六本木2-2-8 KDXビル  
TEL:03-3587-9221  
FAX:03-3587-9238

〈本社〉  
〒565-0851  
大阪府吹田市千里山西5-31-20  
TEL:06-6368-6080  
FAX:06-6368-6081

## システム構成図



## システム選定のポイント

導入がスムーズで業務効率を落とさない安定した運用が可能

選定ポイントとしては、優先順位を付け、  
次の3つの要件を挙げて国内ベンダーのソリューションを探し始めました。

- 1) 印刷実行者・印刷日時・ファイル名などの基本情報だけでなく、  
印刷内容（画像）を含めた印刷履歴が同時に収集・記録可能である。  
例えばファイル名を詐称して機密情報に相当するファイルが印刷されてしまった場合、基本情報だけではその不正行為を見つけ出しができません。もちろん業務上、機密情報を正規に印刷することもありますので、その不正・正規の判断を行う上で、本要件は必須かつ優先順位の高いものでした。
- 2) プリンタの機種に依存せず、アプリケーションや既存のシステム、業務に影響を及ぼさない。  
当社が利用している複合機・プリンタなどの機種に依存せず、仮想プリンタ（PDFなど）に出力された印刷履歴データまでも収集可能であることを高く評価しました。今回、エラー社から評価機を貸与いただきて、当社環境を想定してテストしましたが、既に稼働しているシステムに影響を及ぼすことはなく、印刷に関わる業務効率が落ちることもありませんでした。
- 3) 印刷履歴データをユーザ名や印刷日時、ファイル内のテキストで検索し、  
検索結果においても印刷内容が確認できる。  
過去に印刷された全ての印刷履歴データから、特定のキーワードで検索し、瞬時に印刷内容を含めた結果が得られることは、万が一にインシデントが発生した場合でも、初動対応が迅速に取れるという観点で外せないものでした。

これら3つ全ての要件を満たし、業務効率を落とさずに安定した運用が可能であったソリューションが、「WISE Print 印刷ログ監査」でした。

## ご導入後の効果と今後の展望

これまでの業務に影響が無く、印刷物に対するセキュリティの意識付けに成功

WISE Print は、Windows 端末にエージェントをインストールするタイプであるがゆえに、プリンタの機種に依存せず、使用するアプリケーションや既存のシステムに影響を与えないメリットがありますが、800台へのエージェントの導入にあたっては、端末を所有している各個人に、印刷による紙からの情報漏えい対策を目的とすることをアナウンスした上で、エージェントのインストールをしてもらうことにしました。

インストール後は業務中に WISE Print が稼働していることを意識することはありませんが、印刷セキュリティに関する「意識付け」ができており、不正行為に対する抑止力になっていると感じています。

また、ログを収集しているサーバで、ユーザ名やファイルの拡張子、日付などで印刷履歴を検索し、抽出されたログから、問題なく印刷内容を確認することができます。



川澄化学工業株式会社  
システム部 システム管理課  
リーダー  
澤田 洋介 様

### AIR's VIEW

WISE Print 印刷ログ監査は、「印刷セキュリティ強化」と「コスト削減」の両面のメリットを提供します。

川澄化学工業様には、特にセキュリティ面を評価して頂きました。

今後は、機能と運用性の両面から、拡張とよりよいサポートの提供に努めます。そしてご要望にお応えすることで、WISE Print 印刷ログ監査の成長に役立てさせて頂きたいと思います。